

謹啓 皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

かけがえのない命が失われ、本町に甚大な被害をもたらした熊本地震から半年が経ちました。震災当初から、数多くのご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。心のこもった炊き出しや物資その他、皆様からのご支援は私たちの大きな力となりました。

震災当初は、一万六千人を超える町民が十カ所の指定避難所の他、民間施設や地域の集会所等に避難しておりましたが、応急仮設住宅の完成や民間賃貸住宅の応急仮設住宅への切り替え制度及び応急修理制度の利用も進み、最後の指定避難所・益城町総合体育館も十月末に無事に閉所することができました。

緊急避難の時期を過ぎ、本町もようやく次のステージへと進みましたが、復興へはまだまだ長い時間がかかると思われます。益城町では、震災前より住みよく、災害に強いまちをつくるために、これからも町民とともに力を合わせて取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご支援ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

この度のご厚情に対し御礼を申し上げますとともに、皆様の益々の御活躍を祈念いたします。

先ずは略儀ながら書中をもって御礼申し上げます。

謹白

平成二十八年十一月吉日

益城町長 西村 博則

